

○事業所名	社会福祉法人 至泉会すこやか園 保育所等訪問支援事業		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日 ~ 令和7年 12月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57人	(回答者数) 42人
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 25日 ~ 令和7年 12月 5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 5日 ~ 令和8年 2月 27日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	19園	(回答者数) 17園
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者にとって、“我が子に合わせた支援が行われている”と思える。	・訪問支援員は、児童発達支援事業と連携し、お子さんの得意なところ、課題点等について確認をしたうえで訪問を行なっている。 ・保護者に面談で報告をする際に丁寧に課題と対応について伝えている。	・今後も、より丁寧に伝えていくことを意識し、保護者が安心して利用していけるように心がける。
2	・訪問支援先と、お子さんの様子(成長したところや課題点等)や出来ると良い支援について共有することができている。	・訪問支援員は、児童発達支援事業と連携し、お子さんの児童発達事業の様子を踏まえて訪問したり、カンファレンスに参加している。	・より良い支援をしていけるよう、今後も意識して継続していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・Instagramで発信をしているが、あまり周知されていなかった。	・児童発達支援事業を通して(月のよてい等)、アカウントをお知らせしたが、保護者の目に留まらなかったかもしれない。	・周知する機会を増やしていく。
2	・訪問先から、訪問回数を増やしてほしいとの声がある。	・お子さんの様子に合わせて、回数は臨機応変に対応している。	・お子さんの様子や保護者のニーズ、また、訪問先のニーズに合わせて、臨機応変に対応できるようにする。